



2023年8月28日

各位

会社名 亀田製菓株式会社

代表者名 代表取締役社長 COO 高木 政紀
(コード番号 2220 東証プライム)

問合せ先 専務取締役 CFO 兼 管理本部長 小林 章
(TEL 025-382-2111)

亀田グループ「中長期成長戦略 2030」策定に関するお知らせ

当社は、新たな中期経営計画を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 理念体系の再構築について

当グループを取り巻く経営環境の変化を踏まえ、持続的成長を図るべく、これまでの理念体系をより亀田らしい内容へと再構築いたしました。今後は、新たな理念体系をステークホルダーの皆様と共有するとともに、持続可能な社会の実現に資する企業グループとしての成果に取り組んでまいります。

〔パーパス〕

Better For You (バターフォーユー)

お米の恵みを美味しさ・健康・感動という価値に磨き上げ健やかなライフスタイルに貢献する

〔ビジョン〕

Rice Innovation Company (ライスイノベーションカンパニー)

製菓業から米業へ。お米の可能性を最大限引き出し、世界で新価値・新市場を創造する。

〔バリュー〕

Kameda's Craftsmanship (カメダズクラフトマンシップ)

人と自然を愛する気持ちを大切に

最高のアイデアと技術をこめる

新しい挑戦を楽しむ

Full of Humanity

Be Professional

Enjoy the Challenge

2. 中長期成長戦略 2030

亀田グループの存在意義は、お米の恵みを美味しさ・健康・感動という価値に磨き上げ、お客様価値としてお届けすることです。当グループが掲げるビジョン“ライスイノベーションカンパニー”の実現に向けて、当社のバリューを活かし、お米の可能性を最大限に引き出すことで、社会に対して新価値・新市場を創造していきたいと考えております。

国内米菓事業のみならず、海外事業や食品事業への先行投資や技術移転によって展開国と事業領域を拡大していますが、将来的に蓄積していく技術やノウハウを強みに、国内外のパートナーシップを活用しながら成長し、アセットライトで高収益なビジネスモデルへの転換を目指しています。2026年度までにグループの収益基盤を整え、以降はその強固な基盤のうえに、もう一段の事業拡大を図ること、2030年度に向けた持続的な成長と企業価値向上に取り組んでまいります。

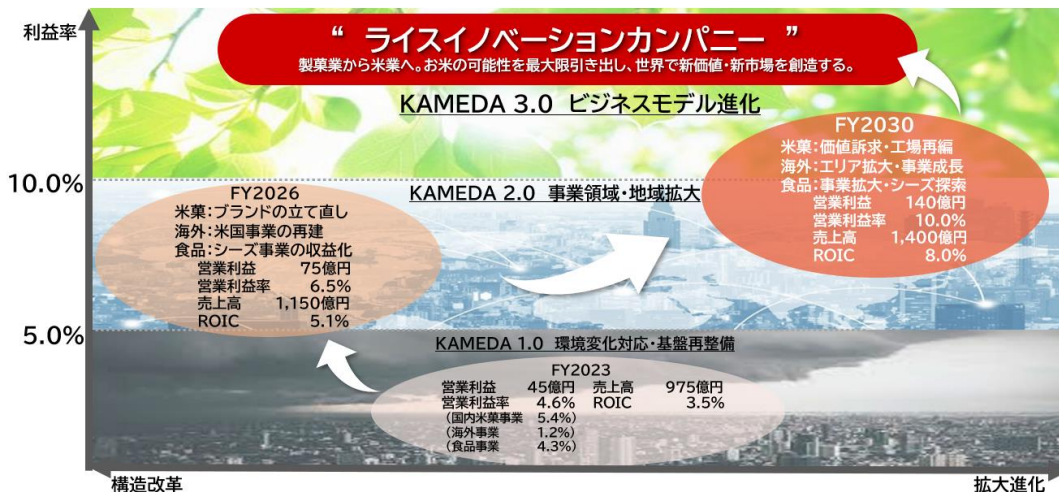
〔戦略骨子〕

① 亀田グループ「進化と勝ち筋」



② 事業規模の成長ロードマップ

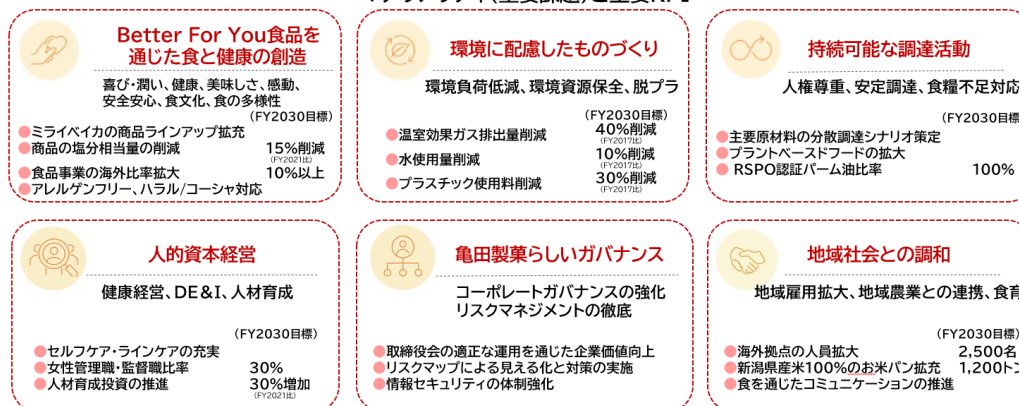
構造改革により早期に収益基盤を立て直し、26年までに安定的な収益体質へ転換(最高益)その基盤をベースとした拡大戦略によって高収益の成長を目指す



③ サステナビリティの推進

『変化』と『イノベーション』でバリューチェーン全体を通じてサステナブルな社会に貢献
戦略実行を通してリスクの軽減と機会を獲得し、ライスイノベーションカンパニーへ進化

マテリアリティ(重要課題)と主要KPI



④ 経営指標 重要KGI/KPI

		単位	FY21実績	FY22実績	FY23予想	FY26目標	FY30目標	CAGR FY23-26	CAGR FY27-30
収益性	営業利益	億円	48.3	35.6	45.0	75.0	140.0	20.4%	16.9%
	利益率	%	5.7	3.8	4.6	6.5	10.0		
	EBITDA	億円	100.1	96.5	110.1	156.0	256.1		
成長性	売上高	億円	851.6	949.9	975.0	1,150.0	1,400.0	4.9%	5.0%
	ライスイノベーション 構成比	%				35.0	50.0		
効率性 安全性	ROIC	%	4.3	2.9	3.5	5.1	8.0		
	ROE	%	7.3	3.0	5.0	7.3	10.0		

※詳細については、下記 URL (当社ホームページ) よりご確認ください。

<https://www.kamedaseika.co.jp/ir/library/presentation/>

以上